Vestax

Creative Musical Interface

取 扱 説 明 書

ご注意

①ハウリングの発生をおさえるため、大音量下で平置きでご使用の場合は、別売のインシュレーターをお買い求めください。

②本体を肩や腰にかけて使用される際は、別売のフックが必要になります。
なお、取付け方法は、本紙16ページをご参照ください。

〒154-0023
東京都世田谷区若林1-18-6
電話 03-3412-7011　　ファックス 03-3412-7013
WEB:www.vestax.jp

ごあいさつ

この度は、ベスタクスQFOクリエイティブ ミュージカル インターフェイスをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書をよくお読み下さるようお願いします。

目 次

ご使用上の注意 …… 2
安全上のご注意 …… 3
本機の特長 …… 4
A.S.T.S(Anti Skipping Tone-arm System)について …… 4
お使いになる前に …… 5
各部の名称と機能 …… 5
MIXERセクション …… 5
TURNTABLEセクション …… 7
組み立て方 …… 8
接続と設置 …… 10
トーンアームの調整のしかた …… 11
レコード演奏 …… 12
フェーダーユニットの交換 …… 13
故障かな？と思ったら …… 14
主な仕様 …… 15
保証とアフターサービス …… 15
インシュレーター(別売)及びフック(別売)の取付け方 …… 16

ご使用上の注意

1. 針先やレコードに付着したほこりやごみは、よく取り除いてください。
針先にほこりやごみがついたまま演奏しますと、針先がレコード盤の音溝に正確に接触することができません。また、音質が悪化するだけでなく、レコード盤や針先の損耗が早まる恐れがありますので、お手入れはトーンアームからシェルごと取りはずし、柔らかい穂先のはけか毛筆などで根元から針先に向かって、丁寧に取り除いてください。レコード盤も良質のレコードクリーナーでよくふいてください。

2. シェル端子は時々ふいてください。
シェルをトーンアームからはずしておきますとシェル端子にほこりやごみがつき、接触不良を起こして雑音やハムを発生させる原因となります。また、音が出なくなる場合もありますので、柔らかい布などでシェル端子をふいてからシェルを取り付けてください。

3. シェルを着脱する場合、アンプのボリュームを"0"にするか、アンプの電源を"OFF"にしてから行ってください。
ボリュームをあげた状態でシェルの着脱を行いますと不愉快な音がするだけでなく、スピーカーをいためる恐れがあります。また、シェルを着脱する場合は針先保護のために針カバーをしてから行ってください。

4. ハウリングとハムについて
ハウリングは、スピーカーからの音や振動がプレーヤーに伝わり、それを再びカートリッジが拾い上げることによって生ずるものです。ボリュームを上げて、ウォーンというハウリングが発生するときは、スピーカーと本体との位置関係をチェックし、音や振動が本機に伝わらないように対策してください。ハムノイズは、他の電器製品から出る電磁波によるものです。本機周辺の電器製品では特にアンプとの位置関係をチェックしてください。

5. 転宅などで、遠くへ運ばれるとき。
購入時の包装材を用いて開梱のときと逆の方法で包装してください。包装材がないときでも、次のことは必ず行ってください。
- ●スリップマットとターンテーブルを抜き取って、傷のつかないように包装します。
- ●アームをアームレストに戻し、更にテープで結んで動かないようにしてください。
- ●バランスウェイトやシェル/カートリッジはアームから取りはずし、傷のつかないように包装してください。
- ●本体は毛布や柔らかい紙等で傷のつかないように包装してください。

6. 電源について
- ●雑音を発生する装置(モーター、調光器など)や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- ●接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

7. 設置について
- ●この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- ●テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

8. お手入れについて
- ●通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- ●変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- ●故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製のスプレーは使用しないで下さい。

9. 修理について
- ●お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- ●当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、6年間保有します。この部品保有期間を修理可能の期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
- ●本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどは、耐久性を超えた使い方(過度なスクラッチプレイでご使用になった場合等)をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただくことがあります。

10.その他の注意について
- ●スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ●ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体(頭の部分)を持って行うようにして下さい。
- ●音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。

警告　この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

電源プラグをコンセントから抜け

● 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

分解禁止

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

指を挟まれないよう注意

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠ 警　告

電源プラグを
コンセントから抜け

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

●万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水槽での使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注　意

電源プラグを
コンセントから抜け

●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

●オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

●電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。

●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。

●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

●調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となるこたがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

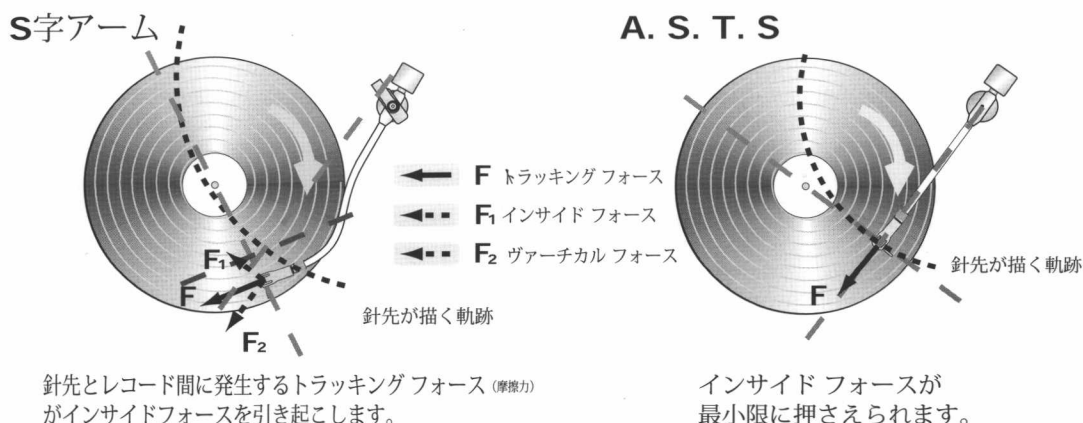
- Q-bert氏の考案によるDJミキサー＋ターンテーブル一体の、今までにない楽器です。
- 場所を選ばず、あらゆるシーンで操作できるダイナミックバランス方式のトーンアームを採用することで、傾いた状況でも使用できます。また、トレーシング性能の向上による音質向上とレコード盤面の反りに対する再生許容範囲を広げます。
- 心臓部であるモーターは、高い安定性と信頼性の評価を受けているVESTAX PDX-2000シリーズで証明された、オリジナルのハイトルクドライブです。
- 内蔵ミキサーには実績のあるVestax-PMC-05Proと同じ回路を採用しております。
- プラッター外周部に沿って設置されたピッチコントローラーにより、再生スピードが変えられます（可変幅±60％）。プレイスタイルが広がります。

A.S.T.S（Anti Skipping Tone-arm System）について

A.S.T.S（アンチ・スキッピング・トーンアーム・システム）はプロフェッショナル**DJ**のためのトーンアームを追求する過程で、長年の経験と試行錯誤の末に開発されました。この機構は、激しいスクラッチパフォーマンスの際に生じる針飛びの問題を解消し、今までのトーンアームの既成概念を打ち破ることに成功しました。**A.S.T.S** はショート/ストレートアームと**TH**方式（トレーシングホールド方式）という**2**つの機構を採用することにより、針飛びの原因となるカートリッジに加わる横方向の力、インサイドフォース、アウトサイドフォースを最小にします。

- インサイドフォースとアウトサイドフォースのキャンセレーションを追求するのではなく、これらのベクトルを発生させないことを前提に作られたアンチスキップ機構は、正回転/逆回転時に発生する横方向の力を極小に押さえ、カンチレバーにかかる負担を大幅に軽減します。又、トレーシングホールド方式の採用により、手でレコード盤面を触れる時に発生するトーンアームの上下方向の振幅も、バランスウエイトの重心位置をアーム支点より低くし、復帰力を高めることで最小限に押さえました。この上下左右両方向のぶれを抑えることで、キューイングやスクラッチ動作時の針飛びの発生回数の92%以上も減少させるという驚異的な性能を実現させました。
- アーム有効長を短くし、アルミニュームパイプと真鍮パイプの2重構造にすることで、レコード盤の音溝信号振動を確実に伝達しつつ、ステージやブース内での大規模なSRシステムによって生ずる大音量下での不要外部振動の伝達を抑制し、耐ハウリング性能を50%以上向上させたとともに、音の立ち上がりを初めとする音質面での改善を可能にしました。
- “微細な信号振動を全て伝える”のではなく、“必要な信号振動を如何に伝えるか”と言う見地から、接合部のネジ、接着剤、ピポットベアリング、ボールベアリング等の各パーツのマテリアルレベルの見直しを行い、音の滲み感、圧縮感を排除した躍動感あふれるサウンドを生み出すトーンアームシステムを実現しました。

針先とレコード間に発生するトラッキング フォース（摩擦力）がインサイドフォースを引き起こします。

インサイド フォースが最小限に押さえられます。

お使いになる前に

部品、付属品の確認

本機は一部の部品を取り外して包装しております。部品が揃っているか確認してください。

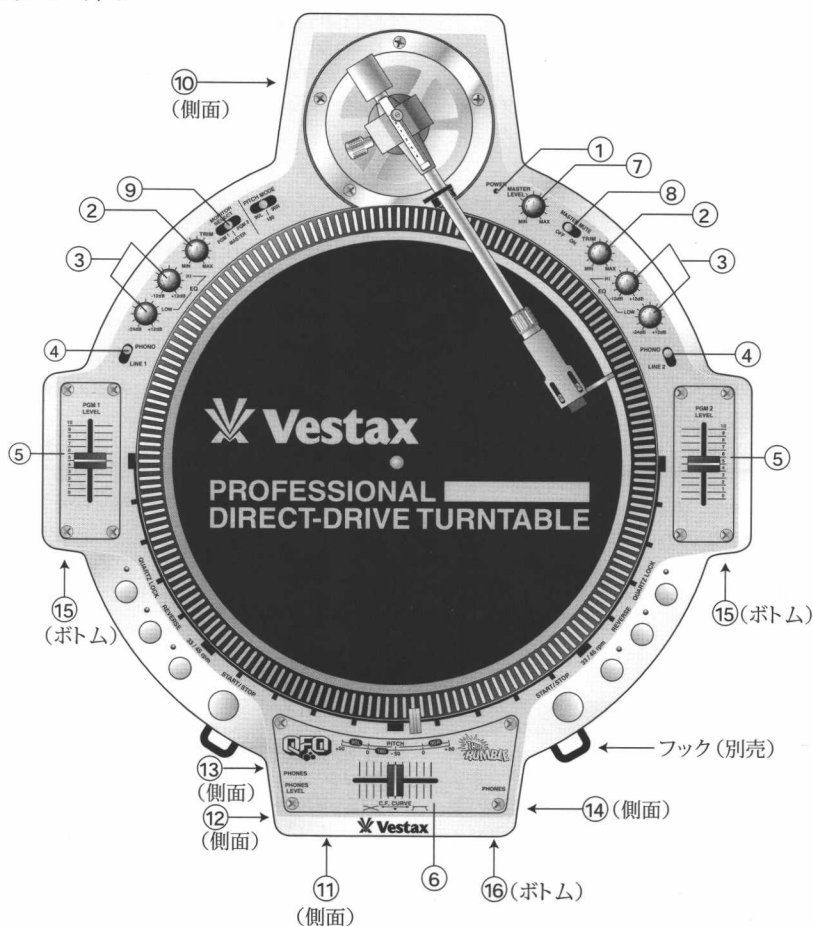
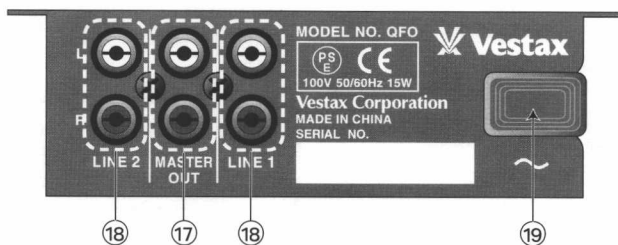
本体
- プラッター
- スリップマット
- 保証書（箱に貼付されております。）

本体を保護するパッキンに配置しているもの。
- ヘッドシェル
- バランスウェイト

本書の袋に同梱されているもの。
- シェルウェイト
- EPアダプター
- プラッター固定ネジ
- プラッター固定ネジ取り付け用ドライバー
- 取扱説明書
- ユーザー登録カード

各部の名称と機能

■MIXERセクション

トップ部

リアパネル部

トップ部

①POWERインジケータ
電源ON時に点灯します。

②TRIM（トリム）ボリューム
プログラムチャンネルの入力レベルを調整するボリュームです。

③EQ（イコライザー）ボリューム
プログラムチャンネルに入力された音声信号の音質を調整するボリュームです。HI、LOWの2バンドの調整が可能です。

④PHONO/LINE（フォノ/ライン）セレクター
各プログラムチャンネルに入力される音声信号（PHONO及びLINE）を選択するスイッチです。セレクターを切り替えることにより、レコードの再生音もしくはLINE入力ジャックに接続された機器のどちらの信号を入力するかを選択できます。
PGM1及び2共に"PHONO"を選択時は、各プログラムチャンネル（PGM1及び2）にレコードの再生音がアサインされます。

⑤INPUT LEVEL（インプットレベル）ボリューム
プログラムチャンネルの音量を調整するボリュームです。
永年の使用による劣化でノイズが目立つ場合には、新しいフェーダーに交換して下さい。交換用のフェーダーは、"IF-Q"をお求めください。なお、交換の際は10ページの『フェーダーユニットの交換』をご参照下さい。

⑥CROSS FADER（クロスフェーダー）ボリューム
各プログラムチャンネルの音声信号のMIXバランスを調節するボリュームです。左側に移動するに従い、PGM1の音が出力され、右側に移動するに従い、PGM2の音が出力されます。
クロスフェーダーを動かした時、ノイズが目立つようになった場合には、別売りの交換用クロスフェーダユニット“CF-PCV”を交換して下さい。 なお、交換の際は10ページの「フェーダーユニットの交換」をご参照下さい。

⑦MASTER LEVEL（マスターレベル）ボリューム
リアパネルのMASTER OUTジャック（⑯）からの出力レベルを調節するボリュームです。

⑧MASTER MUTE（マスターミュート）スイッチ
リアパネルのMASTER OUTジャック（⑯）からの出力音声信号を消音するスイッチです。スイッチをONにすると、出力がミュート(消音)されます。

⑨MONITOR SELECT（モニターセレクト）スイッチ
PHONESジャック（⑬-⑭）に送る音声信号を選択するスイッチです。PGM-1 / MASTER / PGM-2のいずれかの信号をモニターすることが出来ます。

側面部

⑩POWER SW
電源のON/OFFスイッチです。

注 意
このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行って下さい。電源がONになる際にノイズが入ることがあり、パワーアンプ、スピーカーに悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合破損する恐れがあります。

⑪C.F. CURVE（クロスフェーダー カーブ）スイッチ
CROSSFADER（⑥）の音量変化のカーブ特性を調節するボリュームです。スイッチを左側に切替えるとなだらかな音量変化になり、ロングミックスに適したカーブになります。また、右側に切替えると急激な音量変化になり、スクラッチやカットイン/アウトに適したカーブになります。

⑫PHONES LEVEL（ヘッドフォン レベル）ボリューム
PHONESジャック（⑬-⑭）からの出力レベルを調整するボリュームです。

⑬PHONES 1（ヘッドフォン）ジャック—φ3.5 MINI JACK
ヘッドフォンを接続する出力端子です。ステレオミニタイプのヘッドフォンを接続して下さい。8Ω以上のインピーダンスのものをご使用下さい。

⑭PHONES 2（ヘッドフォン）ジャック—φ6.3 PHONE JACK
ヘッドフォンを接続する出力端子です。ステレオタイプのヘッドフォンを接続して下さい。8Ω以上のインピーダンスのものをご使用下さい。

ボトム部

⑮I.F. REVERSE（IFリバース）スイッチ
インプットレベルボリュームの機能を反転させるスイッチです。"REVERSE"時に、インプットフェーダーを上に移動させると音量が下がり、下に移動させると音量が上がります。

⑯C.F. REVERSE（CFリバース）スイッチ
クロスフェーダーの機能を反転させるスイッチです。"REVERSE"時に、フェーダーを左に移動させるとPGM2の音声が出力され、右に移動させるとPGM1の音声が出力されます。

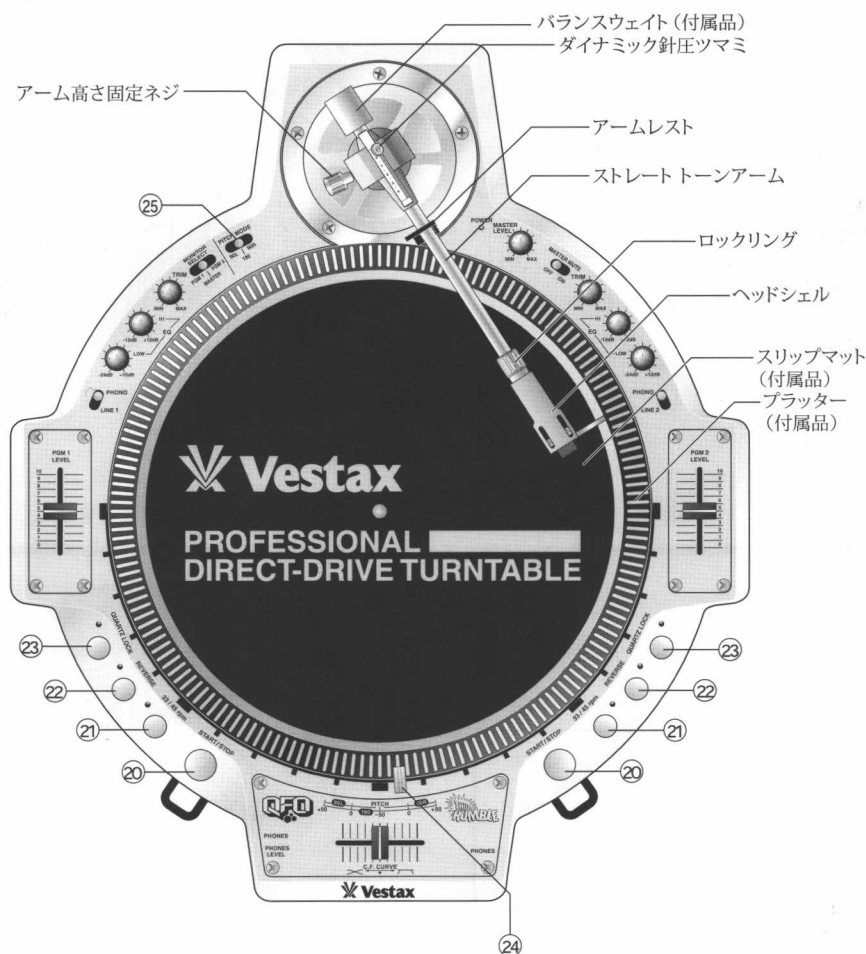
リアパネル部

⑰MASTER OUT（マスターアウト）ジャック
マスター出力端子です。使用するアンプ / オーディオミキサーのLINEまたはAUX入力ジャックに接続してください。

⑱LINE（ライン）入力ジャック
CDプレーヤーやMD、テープデッキ等を接続する端子です。LINE 1はPGM1に、LINE 2はPGM2へ入力されます。

⑲POWER（パワー）ケーブル
電源を供給するケーブルです。壁のコンセントに直接つないで下さい。

注 意
本機は交流（AC）電圧100V 50/60Hzでご使用いただくようになっています。100Vを超える電圧や直流（DC）電圧電源には絶対接続しないでください。

■TURNTABLEセクション

⑳ **START / STOP**（スタート / ストップ）スイッチ
プラッターの回転を開始及び停止するスイッチです。

㉑ **33 / 45**（**33 / 45 rpm**）セレクター
プラッターの回転スピードを33 1/3rpmもしくは45rpmのいずれかに設定するスイッチです。33 1/3rpm設定時にインジケーターが点灯します。スイッチを押すごとに切り替わり、45rpmの時にインジケーターが消灯します。

㉒ **REVERSE**（リバース）スイッチ
スイッチがONの時、プラッターの回転方向を逆回転に切り替えるスイッチです。スイッチを押すごとに切り替わり、REVERSE ONの時にインジケーターが点灯します。

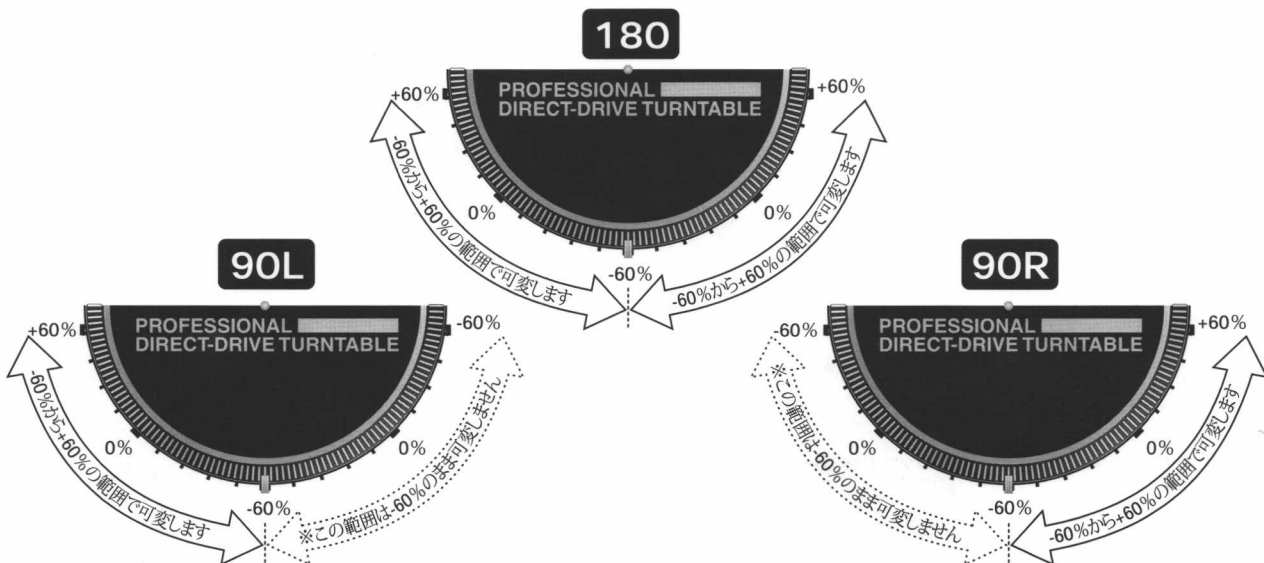
㉓ **QUARTZ LOCK**（クオーツロック）スイッチ
クォーツロックがONの時、インジケーターが点灯します。スイッチがONの時は、プラッターの回転数をPITCHボリュームの位置にかかわらず、規定の回転数（33 1/3rpm、45rpm）に固定するスイッチです。OFFの時はクォーツロック解除となり、ピッチコントロール操作が機能します。

㉔ **PITCH**（ピッチ）ボリューム
プラッターの回転数を調節するボリュームです。
クォーツロック解除時に動かすと、ピッチ調整ができます。

㉕ **PITCH MODE**（ピッチモード）切り替えスイッチ
PITCHボリューム（㉔）の可変幅の設定を切り替えるスイッチです。
スイッチ切り替え時のピッチ可変幅の仕様は以下の通りです。

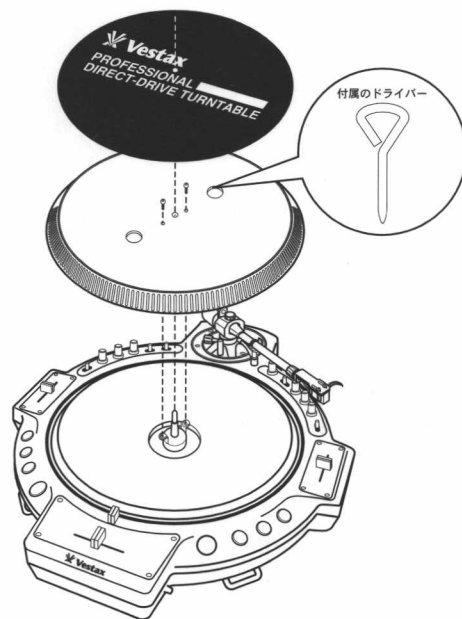
90L：9時の位置が+60％、6時の位置が-60％となり、反時計回りに移動するに従い可変します。6時から3時の間は-60％のままで、可変はしません。

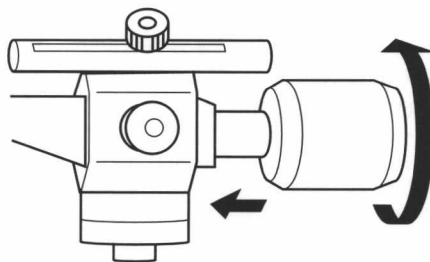
180：3時の位置が+60％、6時の位置が-60％、9時の位置が+60％となり、回転数が可変します。

90R：3時の位置が+60％、6時の位置が-60％となり、時計回りに移動するに従い可変します。6時から9時の間は-60％のままで、可変はしません。

組み立て方

①本体のネジ穴の位置を確認しながら、プラッターをセンタースピンドルにはめます。
②プラッターと本体をドライバー（付属品）を使ってネジを締めます。
③スリップマットをのせます。（印刷面を上にします）

注　意

・ネジ締めを行なわずに、本機を使用すると、プラッターが正常に回転しない恐れがあります。
・組み立て調整がすべて完了するまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
・プラッターを取付ける場合、本体に強く当てないようにご注意ください。

バランスウェイトの取り付け

バランスウェイトをトーンアーム後方から差し込み、正面から見て左回り矢印の方向に廻します。

スリップマットの使い方

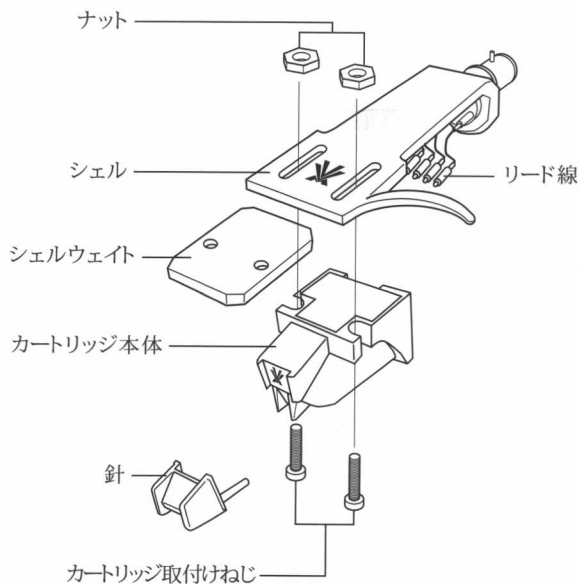
プラッターの上に印刷面を上にしたスリップマットをのせ、その上にレコード盤をのせます。スリップマットを使用することで、プラッターの回転中に手でレコード盤を止めたり、逆転さたりすることができます。
また、別売りのスリップシートを追加すると、より効果があがります。

表面：レコード装着面（印刷面）
裏面：スリップ面

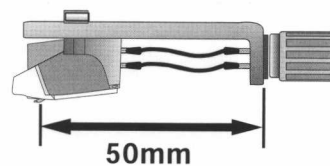
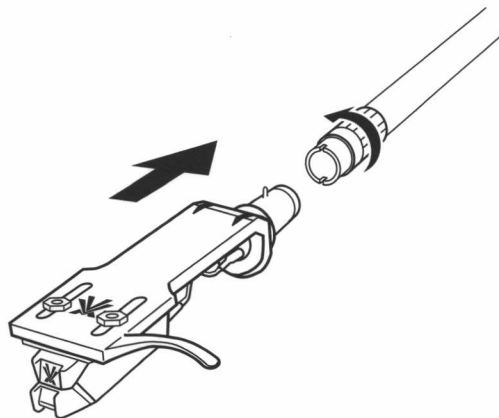
カートリッジの取り付け

①カートリッジの取り付けは、右図を参考にして、ご使用の説明書に従って取付けてください。取付ける際は、ヘッドシェルの先端と平行にして取付けて下さい。
②カートリッジのリード線のL、R極性は以下のようになっています。

赤のリード線 **R+**	緑のリード線 **R-**
白のリード線 **L+**	青のリード線 **L-**

注　意
・軽いカートリッジ（4g～5g）を取付ける場合は、シェルウェイト(付属品)をご使用ください。

③カートリッジの取り付け位置の調整します。
A.S.T.Sでは,一般のS字タイプのトーンアームで必要とされるオーバーハングの調整は必要ありません。ただし、最大限にA.S.T.S性能を引き出すためには、下のようにカートリッジの針先とヘッドシェルの根元との間の距離を50mm程度に調整して下さい。

注　意
カートリッジを前後に動かす際、針先が指やターンテーブルに触れて破損することのないよう、慎重に行ってください。

50mm

④トーンアームの前部にヘッドシェルを差し込みヘッドシェルが固定されるまで、ロックリングを矢印の方向に回します。

接続と設置

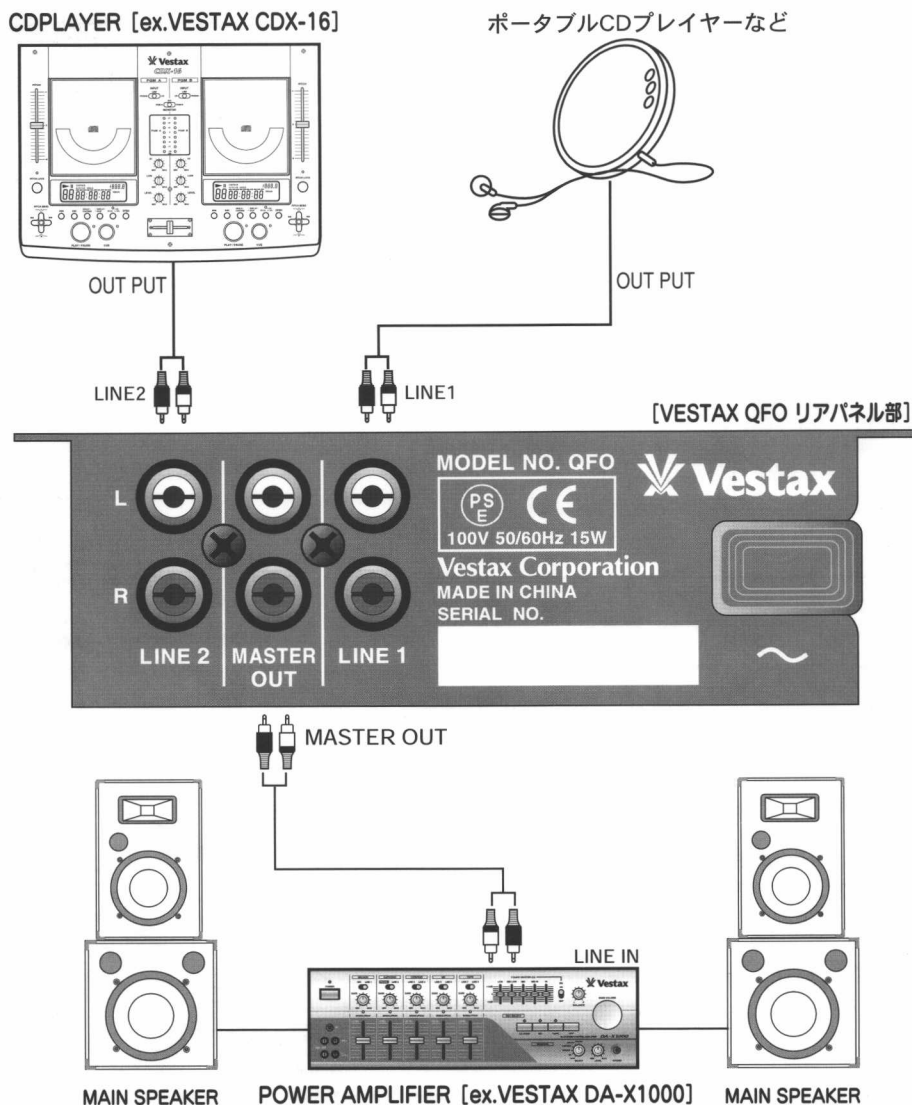
プレーヤーの設置

・外部振動を受けない、しっかりした水平な場所に設置してください。
・スピーカーシステムからできるだけ離して設置してください。
・直射日光、ほこり、湿気などの多い場所や、暖房器具の近くは避けてください。
・通風の良い場所を選んでください。
・ラジオ（FM/AM）を極端に近づけますと、ラジオに雑音が入る場合がありますので、できるだけ本機より離してください。

電源プラグの接続

・電源プラグをコンセントに接続します。

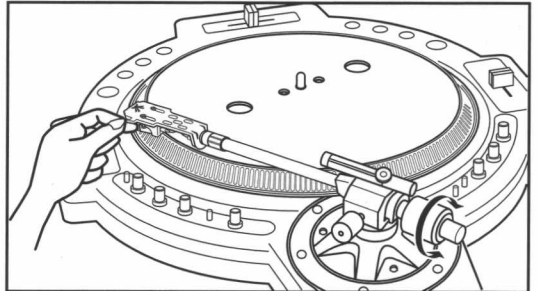
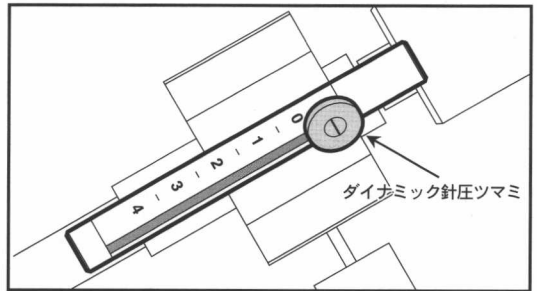
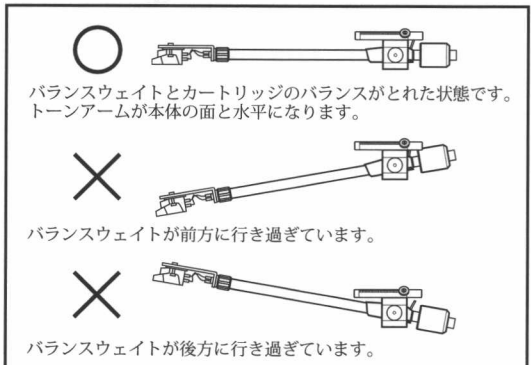
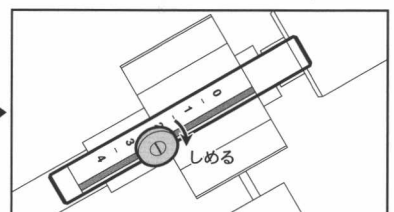
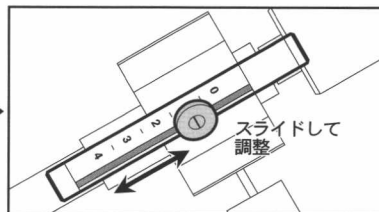
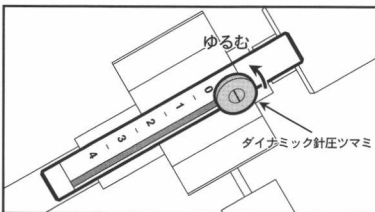
注　意
本機は交流(AC)電圧100V　50/60Hzでご使用いただくようになっています。100Vを超える電圧や直流(DC)電圧電源には絶対接続しないでください。

接続例

トーンアーム調整のしかた

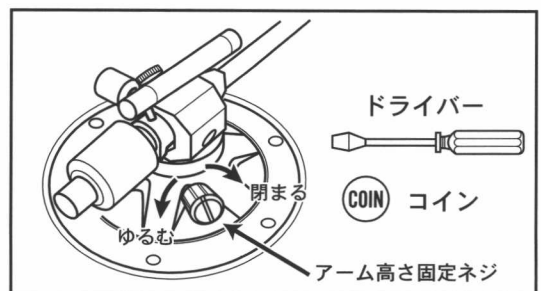
水平（ゼロ）バランス調整と針圧調整

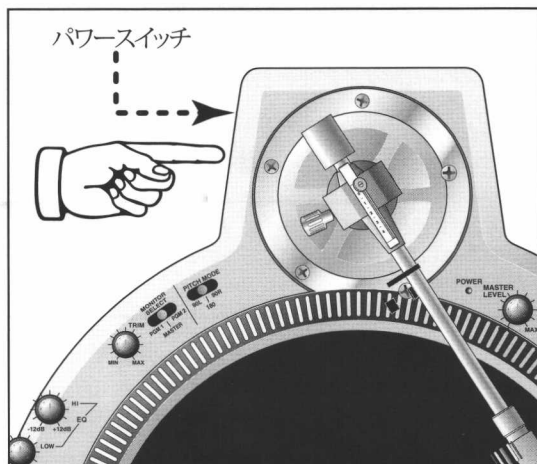
①トーンアームにヘッドシェル、バランスウェイトを取付けます。
②トーンアームのダイナミック針圧ツマミを“0”の位置に合わせます。
③アームレストのロックを外し、バランスウェイトを廻しながらトーンアームが水平になるように調整します。

注　意
水平バランス調整をするときに、カートリッジの針先がプラッターや本体に触れないようにして下さい。針先が破損する恐れがあります。

④トーンアームをアームレストへ戻します。

⑤ダイナミック針圧ツマミを反時計方向に廻し、緩めます。ご使用のカートリッジ指定の針圧値まで、ダイナミック針圧ツマミをスライドさせ、時計方向に廻し、固定します。

アームの高さ調整

ご使用カートリッジによりアームの高さ調整が必要な場合、アーム高さ固定ネジを緩め、高さ調整後、アーム高さ固定ネジを締めます。アームの高さ調整範囲は最大9mmです。

注　意
アーム高さ固定ネジはマイナスドライバー、コイン等で確実に締め込んでください。十分に締め込まれていない場合、針飛びの原因となりますのでご注意ください。

レコードの演奏

①レコード盤をスリップマットにのせます。
②上方左側面に配置されたパワースイッチ（⑩）を押し電源をONにします。
③針カバーをはずします。
④使用するプログラムチャンネルのPHONO／LINEセレクターを“PHONO”に切替えます。
⑤スタート／ストップボタンを押し、ターンテーブルを回転させます。
⑥演奏するレコードの回転数をスピード切替えボタンで33 1/3rpmもしくは45rpmに設定します。
⑦音量調節をします。
TRIMボリューム及びINPUT LEVELボリュームを調整します。また、PHONO/LINEセレクターで“PHONO”を選択したチャンネル側にCROSS FADERを動かしてください。
⑧トーンアームをレコード盤上に移動し、針先を静かにレコード盤に下ろします。
⑨演奏が終わりましたら、トーンアームをアームレストに戻します。また、針先保護のため針カバーをつけておいてください。
⑩スタート／ストップボタンを押してターンテーブルの回転を停止させます。
⑪パワースイッチを押して電源をOFFにしてください。

メ　モ
両方のプログラムチャンネルを“PHONO”に設定しますと、いずれのチャンネルにもレコードの再生音がアサインされます。
例えば、PGM1はEQを絞り、PGM2はEQを通常のセンター位置に設定して、両方のプログラムチャンネルのINPUT LEVELボリュームを適度にあげて、CROSS FADERで操作すると、EQ調整された再生音とされてない再生音のミックス／切替え等の操作ができます。

例：PGM1にレコード再生音をアサイン（割当てる）する場合。

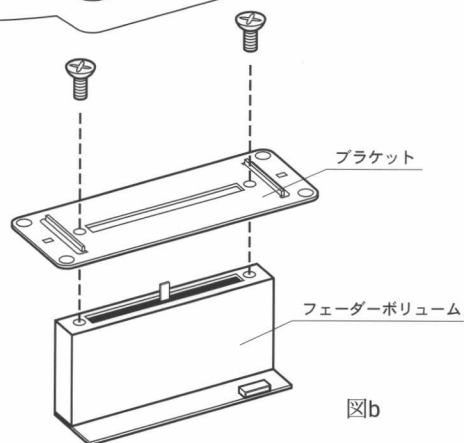
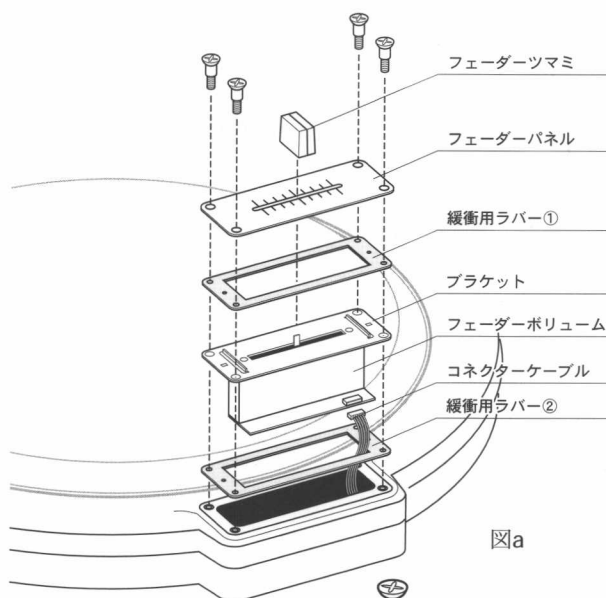
ドーナッツ盤レコードを演奏する場合

付属のEPアダプターをセンタースピンドルにはめ、ドーナッツ盤のレコードをEPアダプターにはめ込んでから演奏をはじめてください。

フェーダーユニットの交換

①交換するフェーダー部のツマミを取り外します。
②フェーダーユニットを固定している4点ネジを取り外します。（右図aをご参照ください）
③フェーダーユニットを持ち上げ、表面のフェーダーパネルとその下にある緩衝用ラバーを外します。
④フェーダーユニットと本体を接続しているコネクタケーブルを外します。
⑤フェーダーボリュームとブラケットを固定している2点ネジを取り外します。（右図bをご参照ください）
⑥新しい交換用フェーダーボリュームを逆の手順で取付けます。

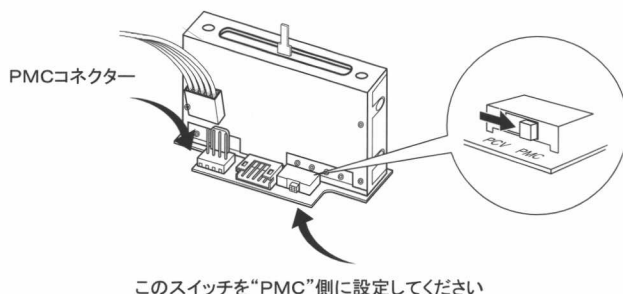
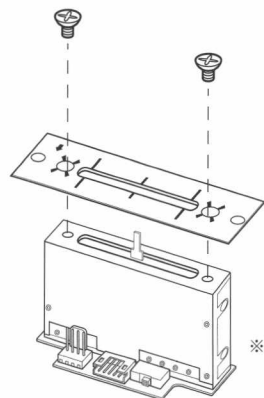
※クロスフェーダーを交換される場合には、下記『クロスフェーダーユニット“CF-PCV”への交換のご注意』も併せてお読みください。

注　意
緩衝用ラバーは、本機レコード再生時の針飛び等を防ぐ為に重要なパーツです。フェーダーユニット交換時に紛失しないようにご注意ください。
また、新しくフェーダーユニットを交換される際には、正しく取付けてください。

【クロスフェーダー“CF-PCV”への交換のご注意】

①クロスフェーダーユニット“CF-PCV”のパネルとボリュームを固定している2点ネジを下図の様に取外します。

②CF-PCVの切替えスイッチを“PMC”側に切替えます。

③CF-PCVのフェーダーボリュームに、QFOのブラケットを取付けてください。

注　意
CF-PCVにはコネクターが2種類装備されていますが、下図の様にPMCコネクターへ取付けてください。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症　状	考えられる原因	処　置
電源が入らない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	各機器の接続が間違っていませんか。	正しく接続する。
音量が小さい。	レコードプレイヤー本体に取りつけているカートリッジに、MCタイプを使用していませんか。	カートリッジをMMタイプへ交換する。（MCタイプを使用する場合はヘッドアンプが必要です。）
	MASTER LEVEL ボリュームや各音量調整ボリュームがMINになっている。	各音量調整ボリュームを適切な位置に調整する。
	PHONO/LINE セレクターが適切でない。	正しく設定する。
左右の音が逆になる。	各機器の接続が間違っていませんか。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音（ハム音またはバス音）が入る。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具や電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。
ランブルノイズや低周波ハウリングが起こる。	レコードプレイヤー本体の近くにスピーカーがありませんか。	スピーカをプレイヤー本体から離す。
針が飛んだり、横すべりする。	針圧が正しくない。	正しい針圧に設置する。
	レコードが汚れているか傷がついている。	レコードをクリーニングするか他のレコードと交換する。
	針先が磨耗している。	針を交換する。
音が片方しか出ない。または全くでない。	ヘッドシェルがトーンアームに確実に取りつけられていない。	確実に取りつける。
	ヘッドシェル内のカートリッジリード線がはずれている。	確実に接続する。
	接続ケーブルが外れかけている、または外れている。	確実に接続する。
	接続ケーブル内の導線が断線して接触不良を起している。	ケーブルを交換する。
正常な音質が得られない。	針先にゴミがたまっているか消耗していませんか。	針先のゴミを専用のクリーニングブラシで取り除くか、針先を新品と交換する。
レコード再生スピードが正しくない。	回転数の設定が誤っていませんか。	レコードに記されている回転数に合わせる。（表記されていないものもあります。）
プラッターが回転しない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
プラッターがガタガタする。回転がおかしい。	プラッターが本体にしっかり固定されていない。	付属のネジを使用し、プラッターと本体をネジで2点しっかり固定する。
音が歪む。	本機のMASTER OUTジャックからミキサーやアンプのPHONO入力に接続している。	ミキサーやアンプのAUXまたはLINE入力に接続し直す。
	出力レベルの高いCDやMDプレイヤー等を接続している。	TRIMボリュームを下げる。
クロスフェーダーまたはインプットフェーダボリュームの動きが悪いまたは動かすとノイズが出る。	クロスフェーダまたはインプットフェーダーボリュームが消耗している。	新品のクロスフェフェーダまたはインプットフェーダーに交換する。（別売の交換用フェーダーユニット／クロスフェーダー：CF-PCV　インプットフェーダー：IF-Qをお買い求めください。）

主な仕様

TURNTABLE	MOTOR	DIRECT DRIVE QUARTZ	
	STARTING UP TIME	0.5sec(33 1/3rpm)70°	
	STARTING TORQUE	2.7kg･cm	
	BRAKING SYSTEM	ELECTRONIC BRAKE	
	SPEED	33 1/3rpm,45rpm	
	PITCH	±60%	
	WOW & FLUTTER	0.07% W.R.M.S	
TONEARM	TYPE	DYNAMIC BALANCE STRAIGHT TONEARM	
	STYLUS PRESSURE	ADJUSTMENT RANGE 0～4.0g	
MIXER	INPUT	NOMINAL INPUT LEVEL	IMPEDANCE
	LINE	-10dBv	10kΩ
	OUTPUT	NOMINAL OUTPUT LEVEL	IMPEDANCE
	MASTER	-10dBv	220Ω
	PHONES	58mW MAX(@47Ω)	≧8Ω
	FREQUENCY RESPONSE	25Hz～25kHz	
	CROSSTALK	≧100dB	
	THD	<0.01%	
	S/N RATIO	≧75dB	
OTHER	DIMENSIONS（W×H×D）	455×130×524(mm)	
	WEIGHT	7.0kg	

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間

お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り6年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
（保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。）

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

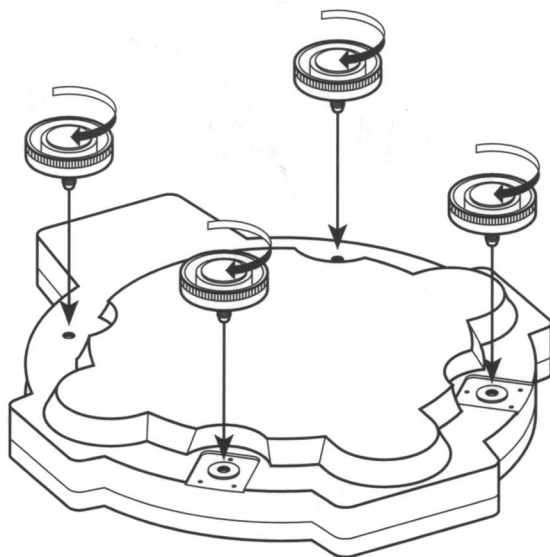
便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　　－

インシュレーター（別売）及びフック（別売）の取付け方

注　意

・インシュレーター及びフック取付けの際は、トーンアームや各つまみ部分に負担をかけない様、クッション材の上等で取付けを行って下さい。トーンアームやその他、部品の破損の原因となりますのでご注意下さい。
・インシュレーター取付けの際に、斜めに取付けたり無理な力を加えるますと、インシュレーターの破損及びハウイング発生をおさえる効果が得られませんので十分ご注意下さい。

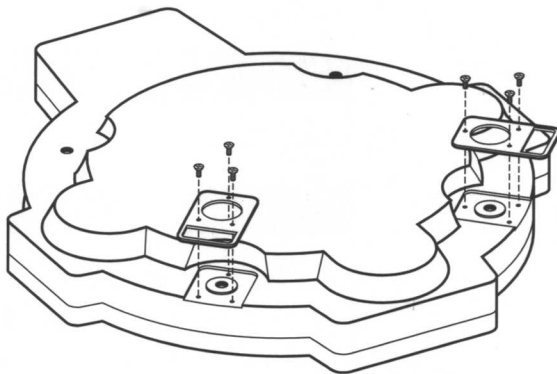
インシュレーター（別売）の取付け方

本機を大音量下平置きでご使用の際は必ず別売のインシュレーター（Vestax_VFT-4）を下図の様に、本機底面4箇所に取付けてご使用ください。
ハウリングの発生をおさえます。

フック（別売）の取付け方

本機を肩かけ仕様でご使用の場合は、別売のフックを右図の様に本機底面2箇所に取付けて下さい。
市販のストラップをフックに引掛けてご使用下さい。

JUL.2004 QFOJ①

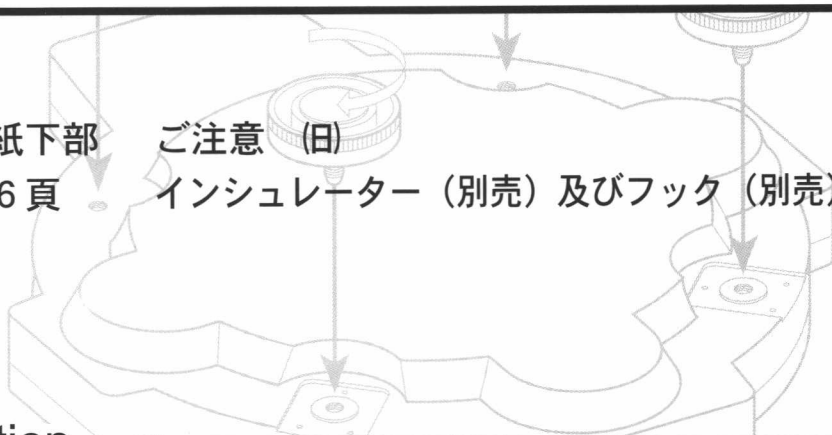
Vestax Corporation

P/N: 4301-7165-0

本誌表記に一部誤りがありますので、下記訂正をご参照ください。
This manual contains an error. Please reference the following correction.

訂正

インシュレーターは別売と表記されていますが、標準装備されております。
フックは別売になります。

訂正箇所

- 表紙下部　ご注意 (日)
- １６頁　インシュレーター（別売）及びフック（別売）の取付け方

correction

Please note that insulator is selled separately. But the insulator is equiped standardly.
QFO hook is sold separately.

correction passage

- The lower section on the cover　NOTE 1
- １５P　How to attach VESTAX insulator and VESTAX QFO hook

Vestax Corporation